別冊

解答用紙

第183回 解答用紙

問題 2
解答 99

商業簿記

問題1

（単位：千円）

		借方科目	金額	貸方科目	金額
問1	(1)				
	(2)				
	(3)				
	(4)				
	(5)				

〈次ページへ続く〉

問題1

〈前ページから続く〉

（単位：千円）

		借方科目	金額	貸方科目	金額
問2	(1)				
	(2)				
	(3)				

問題2

連結精算表

01年4月1日～02年3月31日　（単位：千円）

	P社（親会社）		S社（子会社）		修正・消去		連結	
貸借対照表	資産	負債純資産	資産	負債純資産	借方	貸方	資産	負債純資産
現金及び預金	14,750		7,500					
S社・売掛金	9,000							
貸倒引当金		90						
売掛金			6,000					
貸倒引当金				180				
商品	8,000							
P社・商品			2,500					
建物	6,000		3,000					
減価償却累計額		2,400		1,200				
備品	2,000		1,000					
減価償却累計額		800		400				
土地	15,000		4,000					
S社・株式	9,500							
のれん								
繰延税金資産	50							
買掛金		3,710						
P社・買掛金				9,000				
繰延税金負債				120				
資本金		40,000		10,000				
利益剰余金		17,300		3,100				
評価差額								
非支配株主持分								
	64,300	64,300	24,000	24,000				

〈次ページへ続く〉

〈前ページの貸借対照表から続く〉

損益計算書	費　用	収　益	費　用	収　益	借　方	貸　方	費　用	収　益
売　上　高		24,500		30,000				
売上原価	20,100		25,000					
給　料	1,800		1,500					
減価償却費	240		120					
貸倒引当金繰入額	20		60					
S社・受取配当金		280						
その他の費用	1,420		1,720					
のれん償却額								
固定資産売却益		150						
非支配株主損益								
法人税等	500		450					
法人税等調整額		50	150					
計	24,080	24,980	29,000	30,000				
当期純利益※	900		1,000					
	24,980	24,980	30,000	30,000				

株主資本等変動計算書		減　少	増　加	減　少	増　加	借　方	貸　方	減　少	増　加
資本金	当期首残高		40,000		10,000				
	期中変動	—	—	—	—				
	計	0	40,000	0	10,000				
	当期末残高	40,000		10,000					
		40,000	40,000	10,000	10,000				
利益剰余金	当期首残高		17,000		2,500				
	期中変動								
	剰余金配当	600		400					
	当期純利益※		900		1,000				
	計	600	17,900	400	3,500				
	当期末残高	17,300		3,100					
		17,900	17,900	3,500	3,500				
非支配株主持分	当期首残高								
	期中変動								
	計								
	当期末残高								

※連結の場合には，「親会社株主に帰属する当期純利益」となる。

会　計　学

問題１

	正誤	理　　由
1.		
2.		
3.		
4.		
5.		
6.		
7.		
8.		
9.		
10.		

問題 2

		用　語
問 1	(a)	
	(b)	
	(c)	

		用　語
問 1	(d)	
	(e)	

問 2

(1)	①	②
(2)		

問 3

問題 3

	用　語	計　算　式	意　味
例示	売上高売上総利益率	$\frac{売上総利益}{売上高} \times 100$	売上高に占める粗利の割合
(1)	ＲＯＥ	―――― × 100	
(2)	配当性向	――――	
(3)	流動比率	―――― × 100	

第183回 解答用紙

問題 6
解答 114

工業簿記

問1

副産物評価額	円
第1工程月末仕掛品原価	円
第1工程完了品原価	円

問2

（金額単位：円）

第1工程仕掛品

前月繰越	[ ]	第2工程仕掛品	[ ]
材料	[ ]	( )	[ ]
加工費	[ ]	( )	[ ]
		( )	[ ]
	[ ]		[ ]

副産物

前月繰越	[ ]	( )	[ ]
( )	[ ]	( )	[ ]
	[ ]		[ ]

問3

	前工程費	追加材料費	加工費	合計
第2工程月末仕掛品原価	円	円	円	円
第2工程完了品原価	円	円	円	円

問4

	当月販売高
副産物	円
中間製品X	円
製品X	円

問5

（金額単位：円）

借方科目	金　　額	貸方科目	金　　額

問6

（金額単位：円）

借方科目	金　　額	貸方科目	金　　額

問7

（ア）		（イ）		（ウ）	
（エ）		（オ）			

問8　割り切れない場合には，小数点以下第３位を四捨五入すること

（等価係数）第１工程完了品Ｘ：第１工程完了品Ｙ＝１：

問9

第１工程月末仕掛品原価	円
第１工程完了品Ｘ原価	円
第１工程完了品Ｙ原価	円

問10

原　価　計　算

問題1

問1　[　　] 年

問2　第1年度 [　　] 円　　第2年度 [　　] 円

第3年度 [　　] 円　　第4年度 [　　] 円

問3　[　　] %

問4　第1年度 [　　] 円　　第2年度 [　　] 円

第3年度 [　　] 円　　第4年度 [　　] 円

問5

(1)　[　　] 年

(2)　[　　] 年

問6　[　　] %

問7　[　　] 円

問8

(1)　[　　] 円

(2)　[　　] 円

問題2

問1　(ア)　[　　] %

(イ)　[　　] %

(ウ)　[　　] 円

(エ)　[　　] %

(オ)　[　　] %

問2

「事業部自体を評価するための投資利益率」の基礎となる考え方

「事業部長を評価するための投資利益率」の基礎となる考え方

第185回 解答用紙

問題 10
解答 128

商業簿記

問題1

（単位：千円）

		借方		貸方	
		勘定科目	金額	勘定科目	金額
問1	(1)				
	(2)				
問2	(1)				
	(2)				
	(3)				
	(4)				

問題2

損　　益　　（単位：千円）

仕入	〔　　〕	売上	〔　　〕
営業費	11,500	ソフトウェア売上	780
社債利息	〔　　〕	受取配当金	50
支払利息	〔　　〕	(　　)	〔　　〕
貸倒引当金繰入	〔　　〕	(　　)	〔　　〕
減価償却費	〔　　〕	(　　)	〔　　〕
社債発行費償却	〔　　〕	(　　)	〔　　〕
法人税等	850		
(　　)	〔　　〕		
(　　)	〔　　〕		
(　　)	〔　　〕		
(　　)	〔　　〕		
(　　)	〔　　〕		
(　　)	〔　　〕		
	〔　　〕		〔　　〕

閉鎖残高　　（単位：千円）

現金	1,800	支払手形	3,500
当座預金	6,310	買掛金	2,800
受取手形	5,100	未払法人税等	〔　　〕
売掛金	〔　　〕	未払利息	〔　　〕
売買目的有価証券	〔　　〕	借入金	〔　　〕
買建オプション	〔　　〕	貸倒引当金	〔　　〕
繰越商品	〔　　〕	社債	〔　　〕
備品	〔　　〕	備品減価償却累計額	〔　　〕
車両	5,000	車両減価償却累計額	〔　　〕
その他有価証券	〔　　〕	資本金	12,000
ソフトウェア	〔　　〕	資本準備金	1,300
社債発行費	〔　　〕	利益準備金	900
(　　)	〔　　〕	繰越利益剰余金	〔　　〕
(　　)	〔　　〕	(　　)	〔　　〕
(　　)	〔　　〕	(　　)	〔　　〕
(　　)	〔　　〕	(　　)	〔　　〕
	〔　　〕		〔　　〕

会　計　学

問題１

	正誤	理　　由
1.		
2.		
3.		
4.		
5.		
6.		
7.		
8.		
9.		
10.		

問題2

問1

1.		2.	
3.		4.	

問2

（単位：千円）

退職給付債務額		年金資産額	

問3

（単位：千円）

借方		貸方	
勘定科目	金額	勘定科目	金額

問題3

問1

キャッシュ・フロー計算書　　（単位：千円）

営業活動によるキャッシュ・フロー		
営業収入		[　　]
商品の（　　）		[　　]
人件費の支出	△	490
その他の営業支出	△	150
小　　計		[　　]
（　　）の受取額		[　　]
（　　）の支払額		[　　]
営業活動によるキャッシュ・フロー		[　　]
投資活動によるキャッシュ・フロー		
（　　）による収入		[　　]
（　　）による支出		[　　]
投資有価証券の取得による支出		[　　]
投資活動によるキャッシュ・フロー		[　　]
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入		280
短期借入金の返済による支出	△	290
（　　）による収入		[　　]
（　　）の支払額		[　　]
財務活動によるキャッシュ・フロー		[　　]
現金及び現金同等物の増減額		[　　]
現金及び現金同等物の期首残高		70
現金及び現金同等物の期末残高		[　　]

〔注〕マイナスは，金額の前に△を付す。たとえば，マイナス100は，△100と表示する。

問2

原因の1つ	
判断した理由	

第185回 解答用紙

問題 18
解答 146

工業簿記

問題1

問1 基準操業度 [　　] 時間

問2 変動費率 [　　] 円/時間　　固定費 [　　] 円

問3 予定配賦率 [　　] 円/時間

問4

（単位：円）

	No.1	No.2	No.3	No.1－R	No.2－2
直接材料費	[　　]	[　　]	[　　]	[　　]	[　　]
直接労務費	[　　]	[　　]	[　　]	[　　]	[　　]
製造間接費	[　　]	[　　]	[　　]	[　　]	[　　]
作業屑売却収入	―	―	[　　]	―	―
仕損売却収入	―	[　　]	―	―	―
仕損費振替	[　　]	[　　]	―	[　　]	[　　]
合計	[　　]	[　　]	[　　]	[　　]	[　　]

＊マイナスには△をつけること。

問5

製造間接費

諸口	[　　]	予定配賦額	[　　]
予算差異	[　　]	予算差異	[　　]
操業度差異	[　　]	操業度差異	[　　]

予算差異

製造間接費 [　　]	製造間接費 [　　]

操業度差異

製造間接費 [　　]	製造間接費 [　　]

問6

問題2

問1

	等級製品X	等級製品Y	等級製品Z
原材料費	円	円	円
加 工 費	円	円	円

問2

等級製品Xの正常減損費　［　　］円

等級製品Yの正常減損費　［　　］円

問3

等級製品Xの完成品原価　［　　］円

等級製品Yの完成品原価　［　　］円

問4

	連産品P	連産品Q
分離点後実際加工費	円	円
連 結 原 価 配 賦 額	円	円
計	円	円

問5

原　価　計　算

問題１

問１　製品Ｘ単位当たり製造原価　［　　］円/単位

営業利益　［　　］円

問２　営業利益　［　　］円

製品Ｘの月間生産・販売量　［　　］単位

問３　営業利益　［　　］円

製品Ｘ－２の月間生産・販売量　［　　］単位

問４　製品Ｘの生産・販売量をａ，製品Ｘ－２の生産・販売量をｂとする。なお，［　　］には数値，（　　）には等号または不等号を記入すること。

目的関数：［　　円/単位］×ａ＋［　　円/単位］×ｂの最大化

制約条件式：

材料消費制約　［　　］×ａ＋［　　］×ｂ（　　）［　　］

作業時間制約　［　　］×ａ＋［　　］×ｂ（　　）［　　］

販売量制約　［　　］×ａ（　　）［　　］

［　　］×ｂ（　　）［　　］

非負条件　ａ≧０，ｂ≧０

製品Ｘの月間生産・販売量　［　　］単位

製品Ｘ－２の月間生産・販売量　［　　］単位

営業利益　［　　］円

問５

変化する可能性がある制約条件を○で囲みなさい。

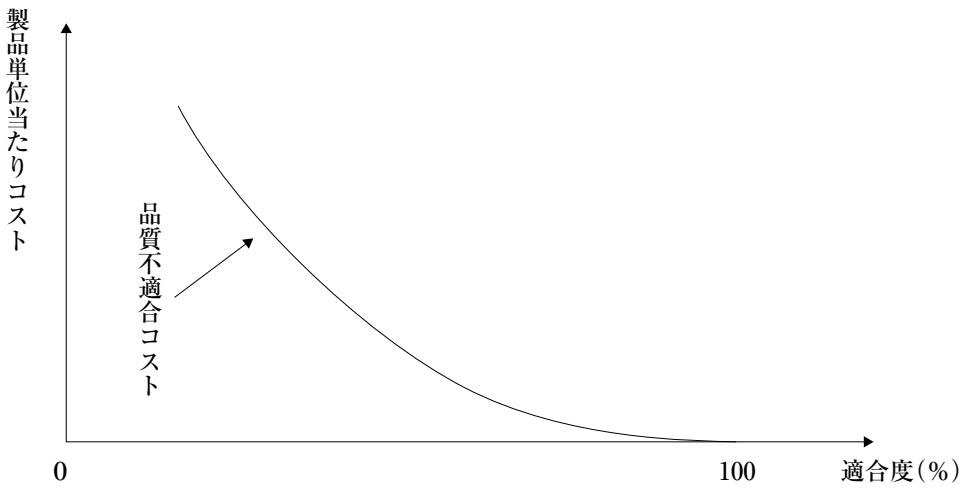
材料消費制約　　作業時間制約　　販売量制約

問題2

問1 A ＿＿＿＿＿＿ B ＿＿＿＿＿＿ C ＿＿＿＿＿＿ D ＿＿＿＿＿＿

E ＿＿＿＿＿＿

問2



問3

(A) コスト [ ] 百万円　(C) コスト [ ] 百万円

(D) コスト [ ] 百万円　(E) コスト [ ] 百万円

問4

問5

第187回 解答用紙

問題 24
解答 163

商業簿記

問題1

	借方科目	金額	貸方科目	金額
問1	土地	2,000,000		〔　　〕
				〔　　〕
		〔　　〕		〔　　〕
	資本金	3,000,000	S社株式	〔　　〕
	資本剰余金	400,000	非支配株主持分	〔　　〕
	利益剰余金	600,000		
		〔　　〕		
		〔　　〕		

問2		借方科目	金額	貸方科目	金額
(1)	X社				
	Y社				
(2)	X社				
	Y社				

問3

繰越利益剰余金

6/20	諸　　口	〔　　〕	4/ 1	前　期　繰　越	850,000
3/31		〔　　〕	3/31		〔　　〕

その他資本剰余金

6/20	諸　　口	〔　　〕	4/ 1	前　期　繰　越	320,000
12/ 8		〔　　〕	1/ 9		〔　　〕
			3/31		〔　　〕

問題2

損　　益　　（単位：千円）

借方科目	金額	貸方科目	金額
売上原価	〔　　〕	売上	86,200
給料	8,400	受取利息	〔　　〕
旅費交通費	〔　　〕	受取配当金	〔　　〕
貸倒引当金繰入額*1	〔　　〕	投資有価証券売却益	1,794
減価償却費*2	〔　　〕		〔　　〕
支払地代	〔　　〕		〔　　〕
社債利息	〔　　〕		〔　　〕
	〔　　〕		〔　　〕
	〔　　〕		〔　　〕
	〔　　〕		〔　　〕
	〔　　〕		〔　　〕
	〔　　〕		〔　　〕
合計	〔　　〕	合計	〔　　〕

＊1　貸倒引当金繰入額は，本来，販売費及び一般管理費，営業外費用または特別損失に損益計算書の記載区分を分ける必要があるが，ここでは，すべての貸倒引当金繰入額をまとめて記入すること。

＊2　建物と備品の減価償却費を合計して記入すること。

会　計　学

問題１

	正誤	理　　由
1.		
2.		
3.		
4.		
5.		
6.		
7.		
8.		
9.		
10.		

問題2

		用　語
問1	(a)	
	(b)	
	(c)	

		用　語
問1	(d)	
	(e)	
	(f)	

問2

問3

(1)	
(2)	

問題3　選択肢：（ア）増加する　（イ）減少する　（ウ）変わらない

		解　答
(1)	①　売上原価の金額	
	②　期末商品棚卸高	
(2)	①　有価証券評価損の金額	
	②　その他有価証券の金額	
(3)	①　減価償却費の金額	
	②　備品の帳簿価額	

第187回 解答用紙

問題 30
解答 179

工業簿記

問題1

問1

1		2		3		4		5	

問2

購入代価

材料A 〔　　〕円　材料B 〔　　〕円

取得原価

材料A 〔　　〕円　材料B 〔　　〕円

問3

材　料

前月繰越	〔　　〕	仕掛品	〔　　〕
諸口(当月購入分)	〔　　〕	製造間接費	〔　　〕
材料消費価格差異	〔　　〕	材料消費価格差異	〔　　〕
		次月繰越	〔　　〕
	〔　　〕		〔　　〕

(注) 金額を記入する必要のない空欄には「—」を記入すること。

問4

直接工賃金の間接労務費分　〔　　〕円

間接工賃金・給料の間接労務費分　〔　　〕円

問5

賃金・給料

諸口(当月支払分)	〔　　〕	未払賃金給料	〔　　〕
未払賃金給料	〔　　〕	仕掛品	〔　　〕
賃率差異	〔　　〕	製造間接費	〔　　〕
		賃率差異	〔　　〕
	〔　　〕		〔　　〕

(注) 金額を記入する必要のない空欄には「—」を記入すること。

問6

問7

製造間接費配賦差異　〔　　〕円　(有利差異 ・ 不利差異)
該当する方を○で囲むこと

予算差異　〔　　〕円　(有利差異 ・ 不利差異)
該当する方を○で囲むこと

操業度差異　〔　　〕円　(有利差異 ・ 不利差異)
該当する方を○で囲むこと

問8

借方	金額	貸方	金額

問9

問題2

問1

価格差異　〔　　〕円　（ 有利差異 ・ 不利差異 ）
該当する方を○で囲むこと

数量差異　〔　　〕円　（ 有利差異 ・ 不利差異 ）
該当する方を○で囲むこと

問2

原　価　計　算

問題1

金額がマイナスの場合は△を付けること。

問1　〔　　〕万円

問2　〔　　〕万円

問3　〔　　〕万円

問4　〔　　〕万円

問5　（　　）案の方が（　　）案よりも正味現在価値が〔　　〕万円大きいので有利である。

問6

問題2

問1 製品A〔　　〕円/時間　製品B〔　　〕円/時間

製品C〔　　〕円/時間

問2

製品A	製品B	製品C
個	個	個

貢献利益の総額　〔　　〕円

問3

製品A	製品B	製品C
個	個	個

貢献利益の総額　〔　　〕円

問4

製品A	製品B	製品C
個	個	個

貢献利益の総額　〔　　〕円

問5

損益分岐点売上高　〔　　〕円

第189回 解答用紙

問題 36
解答 192

商業簿記

問題1

問1

（単位：億円）

年度	借方科目	金額	貸方科目	金額
第1年度				
第2年度				
第3年度				
第4年度				

問2

（単位：百万円）

会社	借方科目	金額	貸方科目	金額
C社				
D社				

問題2

損　　益　　（単位：千円）

借方科目	金額	貸方科目	金額
売上原価	〔　　〕	売上	〔　　〕
給料手当	10,000	受取利息配当金	〔　　〕
法定福利費	750	法人税等調整額	〔　　〕
退職給付費用	〔　　〕		
旅費交通費	800		
支払地代	〔　　〕		
減価償却費	〔　　〕		
資産除去債務調整額	〔　　〕		
貸倒引当金繰入（販売費）	〔　　〕		
社債利息	〔　　〕		
為替差損益	〔　　〕		
貸倒引当金繰入（営業外費用）	〔　　〕		
関連会社株式評価損	〔　　〕		
繰越利益剰余金	〔　　〕		
合計	〔　　〕	合計	〔　　〕

問題2

閉鎖残高　（単位：千円）

借方科目	金額	貸方科目	金額
現金	350	買掛金	10,000
当座預金	2,000	外貨建買掛金	1,070
売掛金	12,500	貸倒引当金	〔　　〕
先物取引差金	〔　　〕	建物減価償却累計額	〔　　〕
商品	〔　　〕	備品減価償却累計額	〔　　〕
仮払消費税	0	仮受消費税	0
前払地代	〔　　〕	未払利息	〔　　〕
前払費用	〔　　〕	未払消費税	〔　　〕
繰延税金資産	〔　　〕	繰延税金負債	〔　　〕
建物	〔　　〕	社債	〔　　〕
備品	3,000	退職給付引当金	〔　　〕
その他有価証券	〔　　〕	資産除去債務	〔　　〕
長期貸付金	1,500	資本金	30,000
差入保証金	40	資本準備金	1,000
関連会社株式	〔　　〕	利益準備金	2,000
その他有価証券評価差額金	〔　　〕	任意積立金	6,300
		繰越利益剰余金	〔　　〕
		繰延先物損益	〔　　〕
合計	〔　　〕	合計	〔　　〕

会　計　学

問題１

	正誤	理　　由
1.		
2.		
3.		
4.		
5.		
6.		
7.		
8.		
9.		
10.		

問題2

	用　語	
問1	(a)	
	(b)	
	(c)	

	用　語	
問1	(d)	
	(e)	
	(f)	

問2

例　示	市場価格の下落・市場の需給変化
原因①	
原因②	

問3

問4

①	
②	

問題3　（計算過程がわかるように計算式を示すこと）

	計算式（単位：万円）	解答（単位：万円）
問1		
問2		
問3		

第189回 解答用紙

問題 44
解答 209

工業簿記

問題1

問1

補助部門費の予定配賦率　〔　　〕円/単位

補助部門費配賦額

第1部門　〔　　〕円

第2部門　〔　　〕円

第3部門　〔　　〕円

問2

	予定配賦率	仕掛品への配賦額
第1部門	〔　　〕円/h	〔　　〕円
第2部門	〔　　〕円/h	〔　　〕円
第3部門	〔　　〕円/h	〔　　〕円

問3

補助部門の配賦差異　〔　　〕円

第1部門配賦差異　〔　　〕円

変動費予算差異　〔　　〕円　　固定費予算差異　〔　　〕円

操業度差異　〔　　〕円

問4

加工時間1時間当たりサービス提供量　〔　　〕単位/h

補助部門における追加的なサービス提供量　〔　　〕単位

問5

第1製造部門費 〔　　〕円

計算過程

問6

問題2

問1

	月末仕掛品原価	当月完成品原価
直接材料費	〔　　〕円	〔　　〕円
加　工　費	〔　　〕円	〔　　〕円
合　　計	〔　　〕円	〔　　〕円

問2

借　　方	金　　額	貸　　方	金　　額

問3

評価上の差額 〔　　〕円

原　価　計　算

問題1

問1

変動売上原価　〔　　〕円　　変動販売費　〔　　〕円

貢献利益　〔　　〕円　　営業利益　〔　　〕円

問2

利益剰余金　〔　　〕円

問3

売掛金回収による現金流入見積額　〔　　〕円

問4

製品所要在庫数量　〔　　〕個

原料所要在庫数量　〔　　〕kg

問5

買掛金支払による現金流出見積額　〔　　〕円

原料購入による現金流出見積額　〔　　〕円

問6

現金　〔　　〕円

問題2

問1

予算

売上高 〔　　〕円　貢献利益 〔　　〕円

実績

売上高 〔　　〕円　貢献利益 〔　　〕円

問2

価格差異

製品A 〔　　〕円（　　）差異　製品B 〔　　〕円（　　）差異

（広義の）数量差異

製品A 〔　　〕円（　　）差異　製品B 〔　　〕円（　　）差異

問3

セールス・ミックス差異 〔　　〕円（　　）差異

（狭義の）数量差異 〔　　〕円（　　）差異

問題3

問1

ア（　　）　イ（　　）　ウ（　　）

問2

第191回 解答用紙

問題 48
解答 223

商業簿記

問題1

問1

（単位：千円）

問題番号	借方科目	金額	貸方科目	金額
(1)				
(2)				
(3)				
(4)				
(5)				

問2

（単位：千円）

問題番号	借方科目	金額	貸方科目	金額
(1)				
(2)				
(3)				
(4)				

問題 2

損　　益　　（単位：千円）

借方科目	金額	貸方科目	金額
仕入	〔　　〕	売上	〔　　〕
給料手当	16,000	受取利息	100
交通費	800	為替差損益	〔　　〕
水道光熱費	700		
減価償却費	〔　　〕		
貸倒引当金繰入	〔　　〕		
支払利息	〔　　〕		
商品評価損（特別損失）	〔　　〕		
固定資産除却損	〔　　〕		
法人税等	2,360		
法人税等調整額	〔　　〕		
繰越利益剰余金	〔　　〕		
合計	〔　　〕	合計	〔　　〕

閉鎖残高　（単位：千円）

借方科目	金額	貸方科目	金額
現金	2,055	買掛金	18,030
当座預金	8,300	貸倒引当金	〔　　〕
売掛金	〔　　〕	仮受金	0
繰越商品	〔　　〕	仮受消費税	0
未着品	0	未払法人税等	〔　　〕
仮払金	0	未払消費税	〔　　〕
仮払法人税等	0	繰延税金負債	〔　　〕
仮払消費税	0	建物減価償却累計額	〔　　〕
繰延税金資産	〔　　〕	備品減価償却累計額	〔　　〕
建物	〔　　〕	リース資産減価償却累計額	〔　　〕
備品	40,000	リース債務	〔　　〕
土地	3,900	資本金	50,000
リース資産	5,512	その他資本剰余金	〔　　〕
その他有価証券	〔　　〕	利益準備金	10,700
自己株式	〔　　〕	繰越利益剰余金	〔　　〕
その他有価証券評価差額金	〔　　〕		
合計	〔　　〕	合計	〔　　〕

注意：計算結果がゼロである場合，0と記入すること。

会　計　学

問題１

	正誤	理　　由
1.		
2.		
3.		
4.		
5.		
6.		
7.		
8.		
9.		
10.		

問題 2

問 1	(a)	
	(b)	
	(c)	
	(d)	
	(e)	
	(f)	

問 2

問 3

問題 3　（問 1 及び問 2 については解だけでなく計算過程も書くこと）

問 1	計算過程：	解： %
問 2	計算過程：	解： %
問 3		

第191回 解答用紙

問題 56
解答 238

工業簿記

問題1

問1

	等級製品P	等級製品Q	計
直接材料費	kg	kg	kg
加工費	kg	kg	kg

問2

等級製品Pの正常減損費 〔　　〕円

等級製品Qの正常減損費 〔　　〕円

問3

等級製品P　完成品原価 〔　　〕円　月末仕掛品原価 〔　　〕円

等級製品Q　完成品原価 〔　　〕円　月末仕掛品原価 〔　　〕円

問4

等級製品Q当月製造費用　直接材料費〔　　〕円　加工費〔　　〕円

問5

借方	金額	貸方	金額

問6

問題2

問1

標準配賦率 〔　　〕円/時　　製品Xの原価標準 〔　　〕円/個

問2

パーシャルプランの場合

仕掛直接材料費

前月繰越	[　　]	製品	[　　]
材料	[　　]	次月繰越	[　　]
原価差異	[　　]	原価差異	[　　]
	[　　]		[　　]

仕掛直接労務費

前月繰越	[　　]	製品	[　　]
賃金	[　　]	次月繰越	[　　]
原価差異	[　　]	原価差異	[　　]
	[　　]		[　　]

仕掛製造間接費

前月繰越	[　　]	製品	[　　]
製造間接費	[　　]	次月繰越	[　　]
原価差異	[　　]	原価差異	[　　]
	[　　]		[　　]

シングルプランの場合

仕掛直接材料費

前月繰越	[　　]	製品	[　　]
材料	[　　]	次月繰越	[　　]
原価差異	[　　]	原価差異	[　　]
	[　　]		[　　]

仕掛直接労務費

前月繰越	[　　]	製品	[　　]
賃金	[　　]	次月繰越	[　　]
原価差異	[　　]	原価差異	[　　]
	[　　]		[　　]

仕掛製造間接費

前月繰越	[　　]	製品	[　　]
製造間接費	[　　]	次月繰越	[　　]
原価差異	[　　]	原価差異	[　　]
	[　　]		[　　]

問3

直接材料費総差異		有利・不利			
価格差異		有利・不利	数量差異		有利・不利
直接労務費総差異		有利・不利			
賃率差異		有利・不利	時間差異		有利・不利
製造間接費総差異		有利・不利			
予算差異		有利・不利	固定費能率差異		有利・不利
変動費能率差異		有利・不利	不働能力差異		有利・不利

数字にはプラス・マイナスを付けず，有利な差異か不利な差異かに○をすること。

問4

原　価　計　算

問題1

問1

全社的売上高　〔　　〕千円　　全社的営業利益〔　　〕千円

問2

A事業部　　〔　　〕千円　　B事業部　　〔　　〕千円

問3

問4

A事業部　　〔　　〕%　　B事業部　　〔　　〕%

問5

（　採用　　不採用　）解答を○で囲むこと

理由

問6

問7

指標名　（　　）

採用しない場合〔　　〕　　採用した場合　〔　　〕

問8

目標達成売上高〔　　〕千円

問題2

問1

問2

（単位：円）

活動名	活動原価	X製品への配賦額	Y製品への配賦額
段　　取	〔　　〕	〔　　〕	〔　　〕
機械関連	〔　　〕	〔　　〕	〔　　〕
出　　荷	〔　　〕	〔　　〕	〔　　〕
そ の 他	〔　　〕	〔　　〕	〔　　〕

（単位：円）

	X製品	Y製品
月末仕掛品原価	〔　　〕	〔　　〕
完成品原価	〔　　〕	〔　　〕
当月着手分の完成品単位当たり製造間接費	〔　　〕	〔　　〕
前月製造間接費単価より（いずれか適切なほうに○）	上昇　　下落	上昇　　下落

問3

（単位：円）

	当月着手分の単位当たり低減額
X 製 品	〔　　〕
Y 製 品	〔　　〕

第193回 解答用紙

問題 62
解答 258

商業簿記

問題1

イ	
ロ	千円
ハ	千円
ニ	
ホ	千円

問題2

取得時（x1年4月1日）　（単位：円）

借方科目	金額	貸方科目	金額

3年目決算時（x4年3月31日）　（単位：円）

借方科目	金額	貸方科目	金額

4年目決算時（x5年3月31日）　（単位：円）

借方科目	金額	貸方科目	金額

問題 3

閉　鎖　残　高　　（単位：千円）

借方科目	金額	貸方科目	金額
現金	99,570	支払手形	2,700
当座預金	〔　　〕	買掛金	11,700
受取手形	3,000	長期借入金	21,000
売掛金	〔　　〕	社債	〔　　〕
売買目的有価証券	〔　　〕	退職給付引当金	〔　　〕
繰越商品	〔　　〕	貸倒引当金	〔　　〕
建物	600,000	建物減価償却累計額	〔　　〕
備品	8,200	備品減価償却累計額	〔　　〕
子会社株式	〔　　〕	資本金	400,000
その他有価証券	〔　　〕	資本準備金	2,500
	〔　　〕	利益準備金	7,550
	〔　　〕	繰越利益剰余金	〔　　〕
	〔　　〕		〔　　〕
	〔　　〕		〔　　〕
	〔　　〕		〔　　〕
	〔　　〕		〔　　〕

（注）すべての空欄に語句または数値が入るとはかぎらない。

会　計　学

問題１

	正誤	理　　由
1.		
2.		
3.		
4.		
5.		
6.		
7.		
8.		
9.		
10.		

問題 2

問 1	用　　語
(a)	
(b)	
(c)	
(d)	
(e)	

問 2

問 3

問題 3

問 1

問 2

第193回 解答用紙

問題 68
解答 272

工業簿記

問題1

問1

補助部門費配賦後の切削部門費予算［　　］円

内訳：変動費［　　］円　固定費［　　］円

補助部門費配賦後の組立部門費予算［　　］円

内訳：変動費［　　］円　固定費［　　］円

問2

切削部門の予定配賦率［　　］円/時間

組立部門の予定配賦率［　　］円/時間

問3

補助部門費配賦後の切削部門費予算［　　］円

内訳：変動費［　　］円　固定費［　　］円

補助部門費配賦後の組立部門費予算［　　］円

内訳：変動費［　　］円　固定費［　　］円

問4

切削部門の予定配賦率［　　］円/時間

組立部門の予定配賦率［　　］円/時間

問5

動力部門費

諸口	2,677,200	切削部門費	［　　］
（　　）［　　］		組立部門費	［　　］
原価差異	［　　］	（　　）［　　］	
		原価差異	［　　］

修繕部門費

諸口	1,284,700	切削部門費	［　　］
（　　）［　　］		組立部門費	［　　］
原価差異	［　　］	（　　）［　　］	
		原価差異	［　　］

（注）記入する必要のない欄はそのままにしておくこと。

問6

特徴：
前提：

問7

仕掛品

月初仕掛品	3,255,305	製品	[　　]
材料	[　　]	仕損費	[　　]
賃金給料	[　　]	(　　)	[　　]
切削部門費	[　　]	月末仕掛品	[　　]
組立部門費	[　　]		
(　　)	[　　]		

（注）記入する必要のない欄はそのままにしておくこと。

問題2

問1

完成品総合原価　原材料費　[　　] 円

完成品総合原価　第1工程加工費 [　　] 円

完成品総合原価　第2工程加工費 [　　] 円

問2

問1では，第1工程の工程完了品原価を（　　）として第2工程に振り替えるのではなく，二つの工程を（　　）の工程とみなして，最終完成品と各工程の月末仕掛品の原価を計算している。また，原価配分方法として，平均法を採用している。そのため，この方法では，第1工程の月末仕掛品原価の中に，第2工程の（　　）原価の一部が含まれる。このことは，加工作業の流れに沿って正確な原価を計算する考え方にもとづくと，望ましくないといえる。

原価計算

問題1

問1

①

②

問2

損益分岐点売上高　　千円

安全余裕率　　%

問3

経営レバレッジ係数

問4

営業利益増加額　　千円

計算過程：

問5

東大塚電工の安全性は[改善した・悪化した・不変である]。(該当するものを○で囲むこと)

その理由：

問6

その理由：

問題 2

問 1

（単位：円）

第 1 年 度	第 2 年 度	第 3 年 度	第 4 年 度	第 5 年 度

問 2

［　　］年度目で回収することができる。

問 3

投下資本利益率が［　　］％なので, この投資案は［ 採用すべきである・採用すべきでない ］。（該当する方に○をつけること）

問 4

正味現在価値（ＮＰＶ）が［　　］円なので, この投資案は［ 採用すべきである・採用すべきでない ］。（該当する方に○をつけること）

問 5

第195回 解答用紙

問題 74
解答 289

商業簿記

問題1

問1

（単位：千円）

問題番号	借方科目	金額	貸方科目	金額
(1)				
(2)				
(3)				

問2

（単位：千円）

借方科目	金額	貸方科目	金額

問題 2

損　　益　　（単位：千円）

借方科目	金額	貸方科目	金額
売上原価	〔　　〕	売上	〔　　〕
給料手当	148,000	*貸倒引当金繰入	〔　　〕
旅費交通費	〔　　〕	*有価証券運用損益	〔　　〕
支払手数料	〔　　〕	*固定資産売却損益	〔　　〕
支払地代	〔　　〕		
*貸倒引当金繰入	〔　　〕		
減価償却費	〔　　〕		
ソフトウェア償却	〔　　〕		
*有価証券運用損益	〔　　〕		
*固定資産売却損益	〔　　〕		
減損損失	〔　　〕		
法人税等	8,400		
繰越利益剰余金	〔　　〕		
合計	〔　　〕	合計	〔　　〕

注意：*がついている科目について，金額が発生しない側には，〔　〕内に――（ダッシュ）を記入すること。

閉鎖残高　（単位：千円）

借方科目	金額	貸方科目	金額
現金	4,638	買掛金	91,800
当座預金	22,500	電子記録債務	17,280
クレジット売掛金	〔　　〕	仮受金	0
売掛金	93,852	仮受消費税等	0
電子記録債権	12,960	未払法人税等	〔　　〕
売買目的有価証券	〔　　〕	未払消費税等	〔　　〕
商品	〔　　〕	貸倒引当金	〔　　〕
未収入金	〔　　〕	建物減価償却累計額	〔　　〕
仮払金	0	備品減価償却累計額	〔　　〕
仮払法人税等	0	商品評価引当金	〔　　〕
仮払消費税等	0	資本金	200,000
前払地代	〔　　〕	その他資本剰余金	20,250
建物	〔　　〕	利益準備金	50,000
備品	〔　　〕	繰越利益剰余金	〔　　〕
ソフトウェア	〔　　〕		
建設仮勘定	0		
合計	〔　　〕	合計	〔　　〕

会 計 学

問題１

	正誤	理　　由
1.		
2.		
3.		
4.		
5.		
6.		
7.		
8.		
9.		
10.		

問題 2

問 1	用　　語
(a)	
(b)	
(c)	
(d)	
(e)	
(f)	
(g)	
(h)	

問 2

①	②

問 3

①	②

問 4

問題 3

(1)	① 売上原価の金額	(ア) 増 加	(イ) 減 少	(ウ) 不 変
	② 期末商品棚卸高	(ア) 増 加	(イ) 減 少	(ウ) 不 変
(2)	① 有価証券評価損の金額	(ア) 増 加	(イ) 減 少	(ウ) 不 変
	② その他有価証券の金額	(ア) 増 加	(イ) 減 少	(ウ) 不 変
(3)	① 減価償却費の金額	(ア) 増 加	(イ) 減 少	(ウ) 不 変
	② 備品の帳簿価額	(ア) 増 加	(イ) 減 少	(ウ) 不 変
(4)	① 減価償却費の金額	(ア) 増 加	(イ) 減 少	(ウ) 不 変
	② 本社建物の帳簿価額	(ア) 増 加	(イ) 減 少	(ウ) 不 変

第195回 解答用紙

問題 82
解答 305

工業簿記

問題1

問1　原料分の異常減損費　[　　]円

　　加工費分の異常減損費　[　　]円

問2　(借)(　　)[　　](貸)(　　)[　　]

問3　原料分の正常減損費　[　　]円

　　加工費分の正常減損費　[　　]円

問4　月末仕掛品原価　[　　]円

問5　(借)(　　)[　　](貸)(　　)[　　]

問6　原料分の正常減損費　[　　]円

　　加工費分の正常減損費　[　　]円

問7　月末仕掛品原価　[　　]円

問8　(借)(　　)[　　](貸)(　　)[　　]

問題2

賃　　金

(諸　　口)	[　　]	(　　)	[　　]
(　　)	[　　]	(　　)	[　　]
(　　)	[　　]	(　　)	[　　]
(　　)	[　　]	(　　)	[　　]
	[　　]		[　　]

問題3

問1

連結原価の配賦額　　(単位：円)

連産品X	連産品Y	連産品Z

問2

連結原価の配賦額　　(単位：円)

連産品X	連産品Y	連産品Z

問3

原　価　計　算

問題1

問1

予防コストの割合　[　　]%　評価コストの割合　[　　]%

内部失敗コストの割合　[　　]%　外部失敗コストの割合　[　　]%

問2

予防コストの割合　[　　]%　評価コストの割合　[　　]%

内部失敗コストの割合　[　　]%　外部失敗コストの割合　[　　]%

問3

問4

機会損失を含めた場合の前期の品質コスト総額の増加割合　[　　]%

機会損失を含めた場合の当期の品質コスト総額の増加割合　[　　]%

問5

問題2

問1

問2

名　称（　　）　数　値［　　］％

問3

１年度［　　］　２年度［　　］

３年度［　　］　４年度［　　］

問4

パターンＡのもとでの正味現在価値　［　　］円

パターンＢのもとでの正味現在価値　［　　］円

問5

問題3

問1

①　［　　］円　②　［　　］円

問2

①　［　　］円　②　［　　］円

第197回 解答用紙

問題 86
解答 319

商業簿記

問題1

（単位：千円）

	借方科目	借方金額	貸方科目	貸方金額
問1				
問2				

問題2

（単位：千円）

	借方科目	借方金額	貸方科目	貸方金額
(1)				
(2)				
(3)				

問題 3

損　　益　　（単位：千円）

借方科目	金額	貸方科目	金額
仕入	〔　　〕	売上	790,000
消耗品費	〔　　〕	受取利息	50
社債利息	〔　　〕	受取地代	〔　　〕
支払利息	〔　　〕	受取配当金	82
支払保険料	〔　　〕	有価証券評価益	〔　　〕
減価償却費	〔　　〕	有価証券利息	〔　　〕
減損損失	〔　　〕		〔　　〕
法人税等	〔　　〕		〔　　〕
貸倒引当金繰入	〔　　〕		〔　　〕
	〔　　〕		〔　　〕
	〔　　〕		〔　　〕
	〔　　〕		〔　　〕
	〔　　〕		〔　　〕
合計	〔　　〕	合計	〔　　〕

閉　鎖　残　高　　（単位：千円）

借方科目	金額	貸方科目	金額
現金	〔　　〕	支払手形	800
当座預金	〔　　〕	買掛金	〔　　〕
受取手形	11,200	社債	〔　　〕
売掛金	〔　　〕	長期借入金	5,000
電子記録債権	〔　　〕	貸倒引当金	〔　　〕
売買目的有価証券	〔　　〕	建物減価償却累計額	〔　　〕
繰越商品	〔　　〕	車両運搬具減価償却累計額	〔　　〕
車両運搬具	1,200	資本金	400,000
建物	〔　　〕	資本準備金	60,000
土地	508,000	利益準備金	27,000
貸倒懸念債権	1,000	繰越利益剰余金	〔　　〕
満期保有目的債券	〔　　〕	その他有価証券評価差額金	〔　　〕
子会社株式	〔　　〕		〔　　〕
その他有価証券	〔　　〕		〔　　〕
仮払法人税等	0		〔　　〕
	〔　　〕		〔　　〕
	〔　　〕		〔　　〕
	〔　　〕		〔　　〕
	〔　　〕		〔　　〕
合計	〔　　〕	合計	〔　　〕

会 計 学

問題１

	正誤	理　　由
1.		
2.		
3.		
4.		
5.		
6.		
7.		
8.		
9.		
10.		

問題 2

問 1	用　　語		用　　語
(a)		(e)	
(b)		(f)	
(c)		(g)	
(d)			

問 2

問 3

問 4

問題 3

問 1

基準	支配力基準
長所	

基準	持株基準
長所	

問 2

問 3

第197回 解答用紙

問題 92
解答 333

工業簿記

問題1

問1

正常仕損費 〔　　〕円　　月末仕掛品原価 〔　　〕円

当月完成品原価 〔　　〕円

問2

借方科目	金額	貸方科目	金額

問3

月末仕掛品原価 〔　　〕円　　当月完成品原価 〔　　〕円

問4

借方科目	金額	貸方科目	金額

問5

① 〔　　〕円　　② 〔　　〕円

問6 不利差異には△を付すこと

A工程振替差異 〔　　〕円　　B工程振替差異 〔　　〕円

理由：

問7

月末仕掛品原価 〔　　〕円　　当月完成品原価 〔　　〕円

問8　不利差異には△を付すこと

加工費配賦差異　〔　　〕円

変動費予算差異　〔　　〕円

固定費予算差異　〔　　〕円

操業度差異　〔　　〕円

問9

月末半製品原価　〔　　〕円　　月末C製品原価　〔　　〕円

問10

当月の営業利益　〔　　〕円

問題2

A	
B	
C	
D	
E	
F	
G	

原　価　計　算

問題１

問１

製造間接費の予定配賦率　〔　　〕円/時間

問２

部品Ａ１個当たりの製造原価　〔　　〕円

内訳：直接材料費　〔　　〕円

内訳：直接労務費　〔　　〕円

内訳：製造間接費　〔　　〕円

部品Ｂ１個当たりの製造原価　〔　　〕円

内訳：直接材料費　〔　　〕円

内訳：直接労務費　〔　　〕円

内訳：製造間接費　〔　　〕円

問３

製品Ｘの生産・販売量　〔　　〕個

部品Ａ担当の直接工の余剰時間〔　　〕時間

部品Ｂ担当の直接工の余剰時間〔　　〕時間

問４

月次利益　〔　　〕円

注：マイナスの場合は数値の前に△を付すこと。

問５

月次利益　〔　　〕円

注：マイナスの場合は数値の前に△を付すこと。

〔問４の月次利益／本問の月次利益〕の方が　〔　　〕円利益が大きい。

注：カッコ内は適切と思われる方に○をつけること。

問６

月次利益　〔　　〕円

注：マイナスの場合は数値の前に△を付すこと。

〔問４の月次利益／本問の月次利益〕の方が　〔　　〕円利益が大きい。

注：カッコ内は適切と思われる方に○をつけること。

問7

ア		イ	
ウ		エ	

問題2

問1

第6期の予想売上高　〔　　〕千円

問2

製品1個当たりの変動費　〔　　〕千円

年間固定費　〔　　〕千円

問3

製品1個当たりの変動費　〔　　〕千円

年間固定費　〔　　〕千円

問4　(1)　高低点法

損益分岐点の販売量　〔　　〕個

(2)　最小自乗法

損益分岐点の販売量　〔　　〕個

問5